団体設立後初のセミナー開催

不動産投資教育ＬＬＰ

7月1日付で発足した団体「不動産投資教育有限責任事業組合（ＬＬＰ）」（本部・東京都港区）が積極的な活動を行っている。9月10日（土）には設立後、初のセミナーを開催。多くの個人投資家が参加した。

同会は、個人投資家による、不動産投資市場の健全なる発展を促すことを理念に発足した。発起人となったのは、個人の不動産投資家専門のコンサルティングを行うDS management & Agency（東京都千代田区）の須長大城社長と、不動産系の企業向けに法務コンサルティングやデューデリジェンス業務を提供する不動産法務サポートオフィス（東京都中央区）の中沢誠代表行政書士の二人。セミナーを通じて、不動産投資の基礎的な考える力を提供していくことに主眼を置いている。

第1回の会合では、須長氏による「不動産投資の基礎から学ぶ、投資スタンスと物件タイプ」と題したセミナーが行われた。セミナーは2部制でどちらも、不動産投資の基礎的な話が中心。投資物件の種類や個人投資家の成功事例などの華やかな話題とは一線を画した内容で、ともすれば地味な内容だったが、参加者からは「意外に見落としがちな基礎が勉強できて、良かった」と好評だった。

9月10日のセミナーを皮切りに年内で合計8回のセミナーを予定。第2回は「実践・資金調達法」と題して、10月1日(土)13時30分から16時30分までの予定で行われる。場所は、お茶ノ水税経会議室（ＪＲ御茶の水駅 徒歩10分）。講師は須長氏とゲスト講師の2人。参加費用1人1万円。

「不動産投資は自己責任がついてまわります。意思決定に必要な基礎的な知識『不動産リテラシー』を学習して、自ら考え、決定したいと思う個人投資家の方に参加いただきたいと思います」（須長氏）